

半田市政に関する提言書

令和7年8月9日、30日に開催いたしました「HANDA市民討議会 2025」において討議された意見等を取りまとめ次のとおり提言いたします。

討議テーマ

届け！私たちが教える”半田の歴史・文化”の魅力 ～みんなで描くまちのカタチ～

醸造・発酵にまつわる半田市の歴史・文化の魅力について、市民が身近に感じ、誇りをもって発信するために市民・地域・行政でできることを考えよう

市民討議会や事前勉強会を通じて、半田市の取組を知ることにより、参加者の多くが醸造・発酵に関するまちの魅力への関心を深めました。その上で、より良い取組となるよう「目指す姿」と「実現に向けた具体的方向性」を整理し、魅力を発信していく意欲を高めました。

目指す姿

醸造・発酵にまつわる半田市の歴史・文化の魅力について、目指す姿を次のように考えています。

- ◆醸造・発酵にまつわる食や体験に触れ、歴史と文化を感じられる魅力的なまち
- ◆市民がまちに誇りを持ち自ら情報を発信し、訪れる方におすすめできる醸造・発酵にまつわる名物が揃ったまち

実現に向けた具体的方向性（ポイント）

目指す姿の実現に向けて、醸造・発酵にまつわる半田市の歴史・文化の魅力を一層高めていくために討議した方向性は次のとおりです。

◆観光資源のさらなる活用

例えば旧半田市立半田病院の跡地の活用や、酢足湯や酢の自動販売機の設置など、市民の関心をひく話題性のあるコンテンツを通じて、観光資源をさらに有効活用することにより、集客の機会を増やし、半田の魅力を知ってもらう場を広げる。

◆新たな名物の創出

例えば半田市の新たな名物として3倍の大きさの尾州早すしを開発するなど、醸造・発酵をテーマにした新しい食や体験を市民や事業者等との協働で創出していくことにより、運河沿いをはじめとした地域全体で、観光や食文化をより楽しむ環境を整える。

◆魅力発信力の向上

半田市の取組やイベント情報がより多くの人に伝わるよう、行政による発信方法を工夫するとともに、市民が身近な情報を適切に受け取り、自ら発信していくことで、まち全体の魅力発信力を高めていくことを目指す。

市民が醸造・発酵にまつわる半田の歴史・文化を知ること、まちへの誇りや愛着の醸成につながり、さらに市民が魅力の届け方を考え行動することで、新たな観光誘客につながると考え、提言します。

提言

1. 半田運河周辺の活性化と市民の意識醸成

半田運河 Canal Night など、誘客の機会となるイベントを継続的に実施し、醸造・発酵をはじめとする半田市の歴史や文化を象徴する半田運河周辺のさらなる活性化を目指す。併せて、景観の保全に向けた市民による草刈り活動などに対して、ポイント制度によるごみ袋の無料配布等の支援をするなど市民の積極的参加を促すことにより、半田市が暮らしやすく、誇りをもって発信できるまちを目指す。

2. 地域の名物と食文化を学ぶ機会の創出

観光客の増加や満足度向上を目指し、地域の事業者や市民等と協働し、メニュー開発やコンテストを開催するなど、醸造・発酵をテーマにした新しい名物の創出を図る。

また、半田市が醸造・発酵のまちであることに市民が誇りを持てるよう、学校給食を通して発酵食の提供や、醸造・発酵に関する半田市の歴史・文化を学ぶ取組を行い、まちの魅力を知ってもらう機会を創出する。

私たちにできること

市内で行われている様々な取組に対し意欲的に参加していくとともに、私たち自身が SNS 等を通じて地域の魅力やイベント情報を発信し、広めることで、まちの魅力を届けます。

令和7年10月15日

半田市長 久世 孝宏 様

HANDA市民討議会実行委員会
委員長 平林 樹明